

とよひら通信「りんご」

～地域のつながりを豊かさへ～

※豊平区民に愛されているりんごのように、みなさんに親しまれる居場所を目指して名付けました。

生活クラブでは、「生活クラブ館とよひら」とみんなの居場所「うたりんご」で地域みなさんとのつながりを大切にしながら誰もが安心して暮らしていける地域づくりに取り組んでいます。今年もたくさんの来場者でにぎわったそれぞれの夏まつりの様子を報告します。

7/18（土）生活クラブ館・とよひら



かふえぼんこたんを開業以来、毎年開催している「夏まつり」は第6回目となりました。地域の皆さんへ、私たちの活動を広めたい思いから始めた小さなお祭りですが、ご家族やお友だちと気軽に参加していただいている様子は自分たちの次の活動への力となっています。

<地域みなさんと楽しむ夏まつり>

今年は夏休み前の開催で店頭の「子ども縁日」は小学生がいつもより少なく感じましたが来場者数は約110名。浴衣姿の幼児連れのご家族や三世代での来場など、ゆっくりとお祭りを楽しんでいる様子が印象的でした。店頭の子供縁日ではヨーヨーやかわいらしいおもちゃもプカプカ浮かぶボールすくい、お楽しみくじ、かき氷やミニたい焼き、たこ焼き、ぼんこナゲットなど手軽に楽しめるまつりメニューを用意しました。

家族連れでにぎわった
子ども縁日

<いろんな人がつながる場に>

2階の会場には、3階にあるケアプランセンターと市民ネット豊平のアピールコーナー、生活クラブ豊平支部のミニ展示販売コーナーを設置。ケアマネジャーからは1名の相談があったこと、市民ネットではまちづくりのシールアンケートをいただいたこと、生活クラブからは試食の対応や、食の実態アンケートの活用ができたことなど、それぞれ充実した時間となったようです。11:00～14:00の3時間、9名のメンバーと地域のボランティア2名、小6のお手伝い2名、うたりんごより3名、2階会場コーナーの運営5名を含め「生活クラブ館のぼんこたん」を楽しく伝える企画のまつりとなりました。

(ワーカーズ・コレクティブ ぼんこたん)

子どもたちに人気のヨーヨー
つりとおもちゃすくい☆

掘り出しもの発見！フリーマーケット『10円市』☆



☆消費材のたこ焼きも大好評

ぼんこたんの
最新情報はこちらから

8/1(土) みんなの居場所「うたりんご」



みんなの居場所「うたりんご」を知ってもらい、つながりを作り、地域に必要なことを見つける目的で、2回目の夏まつりを開催しました。

<「音楽、会話」が弾んだ！>

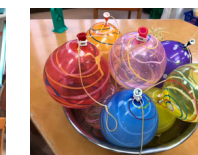
開始直後からたくさんの方が訪れ、来場者は約160人。オープニングの「鍵ハモシスターズ」の演奏は素晴らしかったです。♪YMCAから始まり♪トトロメドレー等子どもたちも楽しめる曲から、庄巻の時代劇メドレーまで鍵盤ハーモニカの表現力の凄さで、会場がひとつになり、音楽の良さを感じました。外では、フリーマーケットやヨーヨーを楽しみ、中では「ねっこぼっこのいえ」や豊平支部サークル「優楽布」「10万年プロジェクト」の手作りの品を販売。作り手とお話しながら選ぶのが楽しそうでした。ぼんこナゲットやおにぎりは完売。



最後は「厚別南マジックサークル」のお二人によるマジックショーで驚きに加え会場を盛り上げるお人柄が伝わり、アットホームな雰囲気になって終了しました。

<地域とともに作り・楽しむまつりへ>

毎週の居場所に来ている方や初めての方もいらっやあって、うたりんごが所属している町内会長さんご家族も初めて訪れて、嬉しい限りでした。月寒中学校特別支援級の生徒さんの作品展示もあり、地域みなさんと一緒に作り・楽しめるまつりになりました。少しずつ地域のお仲間になってきたと思えるこの頃、ここから、更に「うたりんご」が多世代の居場所として必要な存在となるよう、「居場所づくりプロジェクト」と「豊平地域福祉をすすめる会」が連携して活動を進めていきます。(居場所づくりプロジェクト)



↑どれも美味しいと完売

←会場いっぱいの人・人

↑手作りのひもくじ

みんなの居場所「うたりんご」 ～オープン日の報告～



<自由に過ごしています>

2025年4月から、毎週水曜日の10時～15時オープンしているみんなの居場所「うたりんご」。お茶は無料、インスタントコーヒーは飲み放題で50円、ノンカップ麺200円を用意して、持参のお弁当を食べても麺を食べていいとしています。今は自然とスタッフと一緒にお昼を食べようになっています。来場者は、はじめ子育て親子の来場が多くあり、多世代とまではいきませんでした。しかし、土曜日や祝日に夏まつりやクリスマス会・新年お楽しみ会に加えて地域食堂・1周年記念イベント・上映会などを行う中で少しずつ存在が伝わってきたのか、年齢の高い方も「誰とも話さないのはつまらない」とおっしゃって訪れるようになりました。手編みの帽子を、毎回編みながらおしゃべりをしている方やピアノを弾く方がいたり自由に過ごしています。赤ちゃんだった子が歩き始めるなど、その場に集った人たちで成長を楽しめる場にもなっています。

<豊かな地域をつくるために>

来場者数は、居場所オープン日は1日平均6人・イベント日は20人～30人くらいです。正解がない豊かさの基準は、そこに住んでいる人同士がふれあいながら作られていくのではないかと考えています。月寒東での地域福祉づくりは、居場所オープンから1年が経ち、「居場所づくりプロジェクトメンバー」（8人）は、研修・見学（「ねっこぼっこのいえ」や「むくどりホーム」など）を重ねながら、居場所とたすけあいの実践を形作れるよう切磋琢磨の日々です。

一緒に取り組むメンバーも募集しています。興味・関心のある方は、生活クラブ本部（TEL011-887-8891）へ問い合わせを！



⇩ 認知症サポーター養成講座は定期開催



⇩ むくどりホーム見学



⇩ 地域食堂のメニューは「ガパオライス」



うたりんごの
最新情報はこちらから



地域との連携で活動の広がりを実感 生活クラブ豊平支部運営委員会

ぽ

んこたん夏まつりでは、2階の小スペースが運営委員会コーナーでした。スタンプラリーのスタンプ場所も兼ねて多くの来場者が立ち寄ってくれました。ひと家族が入れるスペースで、消費材のお試し販売や牛乳・みかんジュースの試飲、ケチャップやホットケーキミックスのサンプル配布をゆっくり案内できました。特に生活クラブ牛乳は、「組合員が本物の牛乳を飲みたいと願って作った低温殺菌牛乳です」とお伝えしてから試飲が好評で、味と組合員の想いも伝わる場となりました。安全性や無添加など、消費材のこだわりを多くの方にお伝えできました。



⇩ 消費材のお試し販売中



う

たりんご夏まつりでは、入口のテーブルに消費材を並べたことで、の方の目に留まりました。「ずっと気になっていました」と立ち寄る方や、以前の組合員で「美味しさを思い出したので購入したい」と話してくださる方もおり、新たな出会いにつながりました。

地域との連携



かふえぽんこたんには消費材のサンプルとカタログを常設してもらっており、スタッフのみなさんが食を通して消費材を紹介する中で、サンプルがきっかけとなり生活クラブを伝えるきっかけになっています。また、ぽんこたん・うたりんごには支部イベントのチラシを届けており、スタッフの声掛けによってイベント参加にもつながっています。

こうした地域での連携の積み重ねにより、組合員、運営委員、そして員外のみなさんとのつながりが広がり、活動が着実に前進していることを実感しています。

⇩ 両夏まつりでは、お試し販売と牛乳などの試飲でアピール！

生活クラブケアプランセンター

今年は、“ぽんこたん”、“うたりんご”の両夏まつりに参加することができました。沢山の来場者と、普段はふれあう事の少ない小さなお子さん達にはパワーをいっぱいいただきました。又、「ちょっといいですか」と声をかけていただき、生活クラブ館・とよひら3階には、介護相談できるところがあると知っていて下さったことを嬉しく思いました。

今年度に入ってから近隣の方から電話での相談も増えています。今は申請中で結果が出たら・・・、区分の見直しで要介護になったら・・・等、内容は様々です。

今すぐの支援に繋がらなくても、将来的に頼りにされる居宅でありたいと思っています。

皆さんも、介護のご相談がありましたら、011-850-1088までお電話ください。

8月実績報告

要介護度	予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	12人	27人	16人	2人	3人	3人	63人

知っていますか？

ワークサポートケアマネジャー

介護は突然始まり、働き盛りで離職を考える人も多いですが、ちょっと待ってこんなとき頼りになる「ワークサポートケアマネジャー」がいます。これは要介護者本人ではなく「働くあなた」に寄り添い、仕事を辞めずに介護を続ける方法を一緒に考えてくれるプロの相談役です。

困ったときは一人で抱え込まず、まずは勤め先の人事や総務に制度を聞いてみたり、お住まいの地域の「地域包括支援センター」で介護サービスを整えたり、労働局で介護休業などの制度を確認してみましょう。プロの知恵を借りて、両立の道を探してみてくださいね！

